



静脈注射Ⅰ・Ⅱ

～基礎から学ぶ静脈注射～



新卒者67名が、新卒者研修「静脈注射Ⅰ・Ⅱ」を受講しました。薬剤師、業務担当副看護部長、看護職キャリア支援教育担当副看護師長より、「注射剤に関する基礎知識」、「看護師等による静脈注射実施の法的解釈の経緯と看護業務の法的位置づけ」、「静脈注射の基礎知識と手技」に関する講義を受け、その後各部署の教育担当者と共に演習を行いました。

「翼状針による末梢点滴静脈注射」では、実際にお互いの腕で血管を選定し穿刺したことで患者がどのように感じるのか体験する機会となり、患者の安心につながる声掛けの重要性を学ぶことができました。「側管注の点滴静脈注射」では腕モデルを使用し、ワンショット及び生理食塩液を用いたルートロックに関する正しい手技を確認することができました。



薬剤師の特性、危険性をはじめとした静脈注射に関する多くの講義内容を聴講し、講義終了後には学びを共有しました。



患者へのわかりやすい説明を心がけていました。



7Rの確認やキョクワイタルチェックを確実にを行い、安全に投与するための確認を指差し、声出ししながら実践していました。



【翼状針】

解剖生理と患者の安楽という視点から安全に穿刺できる血管はどこかを考えながら血管選定を行っていました。

穿刺後の固定テープの貼り方や滴下速度の計算の仕方なども指導者と共に改めて確認しました。



【側管注：ワンショット】

ワンショット時の投与速度や手順についてマニュアルを見ながら1つ1つ確認していました。

薬剤師の効果発現が速いという静脈注射の特徴について学び、投与中の患者観察として患者の表情や言動に注目していました。



★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当